

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	千里竹見台団地 C26号棟	階数	地上14F
建設地	大阪府吹田市竹見台1丁目1番地	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、30m第	平均居住人員	671 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2018年11月6日
敷地面積	11,913 m ²	作成者	株式会社遠藤剛生建築設計事務所
建築面積	1,714 m ²	確認日	2018年11月20日
延床面積	15,774 m ²	確認者	株式会社遠藤剛生建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	89%
③ 上記+②以外の	89%
④ 上記+	89%

92 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

音環境	3.0
温熱環境	4.0
光・視環境	3.3
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.9
耐用性	2.9
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.9

生物環境	3.0
まちなみ	5.0
地域性・	3.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.2
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源	3.4
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.4
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 当建物は昭和43年に共用開始された団地の一部建替である。基本的には既存の配置、規模を継承しつつ、時代に合った建物を計画している。		その他 既存地形をできるだけ踏襲し、切土盛土を極力低減。かつ既存自然環境の保全に努めている。
Q1 室内環境 ・戸境壁 乾式壁遮音性能TLD-55以上 ・住宅性能表示の温熱環境対策等級4 ・建材はF☆☆☆☆ ・幅広サッシ採用	Q2 サービス性能 ・建築物移動円滑化基準を満たす。 ・共用部のインテリア計画と景観照明計画を行っている。 ・共用部・外装仕上の防汚、防錆に配慮。 ・共用部の維持、管理、修繕、清掃に配慮。	Q3 室外環境(敷地内) ・街並み・景観について、配置、植栽、色彩、記憶の継承、周辺からの景観に配慮 ・エントランスに大庇を設置。アトリウム設置。屋外空間の開放性確保。
LR1 エネルギー ・住宅性能表示のI ₁ ・I ₂ ・消費量対策等級4	LR2 資源・マテリアル 0	LR3 敷地外環境 ・駐輪利用者の利便性を高めるため、各階のEVホール近くに駐輪場を設置。 ・照明計画は照明の専門家が参画。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0107

Osakafu-新築-既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	千里竹見台団地 C26号棟						
	建設地	大阪府吹田市竹見台1丁目1番地						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.2	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		